

好ミ食フ、江州高島郡奥ノ島權兵衛ト云フ者、毎年十一月一日、禁中へ獻ズ、麥藁ニテ葺タル小
キ殿ヲ作り、其内ニ件ノムベヲ釣リ下テ供ズ、文武天皇ノ比ヨリ、今ニ絶ヘズト云フ、土人此葉
ヲ採リ、煎ジテ癰腫ヲ洗フ、能ク崩レズシテ平癒スト云フ、

〔本草和名九〕防己 一名解離、一名石解、木防己一名解推、一名解名、一名解燕、一名方已上六名、出釋藥性、和名阿乎加都良、

〔倭名類聚抄二十〕防己 本草云、防己一名解離、和名阿乎加豆良

〔箋注倭名類聚抄十〕本草云、文作車輻、理解者良、蘇云、防己本出漢中者、作車輻、解黃實而香、圖經、莖梗甚嫩、苗葉小類牽牛、折其莖、一頭吹之、氣從中貫、如木通類、陳藏器云、作藤、著木生、

〔日本釋名草下〕藟ツツラ つゞくかづらなり、くとかづとを略す、長くつゞくかづらなり、

〔倭訓栞中編〕あをかづら 倭名抄に防己を訓せり、青葛の義、延喜式に防己をあをつゞらと點せり、萬葉集にあをつゞらこにあとり入てといへり、今つゞらふぢといふ是也、つたのはかづらといふは防己の一種はすのはかづらといふは漢防己也、かふもりかづらは木防己也といへり、

〔和漢三才圖會九十六〕防己 解離 石解 和名阿乎加豆良、中略

按防己有漢木二品、而今自中華所渡者皆長六七寸、切大者徑寸許、黃色帶赤、破之文作車輻、解而甚香、所謂漢防己也、而別木防己者不來、

倭之產長七八寸、切大小如木通、莖而青白色、皮皺不香、所謂木防己是也、二物共苗莖而非根也、明焉、今藥肆以唐爲漢防己、以倭唯稱防己、藝州廣島爲上、丹波之產短細爲下、蓋本草必讀所圖之瓜防己者未勤、

〔重修本草綱目啓蒙十五〕防己

チン	ア	メ
ン	ヲ	ツ
ン	カ	ツ
カ	ヅ	バ
ヅ	ラ	ラ
ラ	豫州	ツ
	播州	バ
		ラ
		カ
		ヅ
		ラ
		ヤ
		ブ
		カ
		ラ
		シ
		ノ
		ツ
		バ
		ラ
		フ
		ヂ

和名鈔、
豫州、
播州、
雲州、
五瓜、
龍ト同名、